

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	631008	事務事業名	光地区消防組合負担金	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	・市民の生命や財産を災害から守り、だれもが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○市域で二つに分かれている消防体制を、安心かつ効果的な管轄体制の視点から、最善の方向性を研究します。			25年度市民評価の満足度	
					【消防・救急体制】	60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・熊毛地区の火災、救急等に適切に対応することにより、熊毛地区住民等の安心安全を守る。	事業の内容 (手段)	・光地区消防組合を構成することにより熊毛地区の火災、救急に出動し、災害による被害を軽減する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・平成26年度において、熊毛地区の火災10件、救急699件に出動し、災害に因る被害を軽減した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	241,321	232,091	207,074	214,693		229,939						
事業目標	目標名	熊毛地区を管轄する、光地区北消防署消防体制	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額) うち一財	千円	241,321	232,091	207,074	214,693	229,939	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	241,321	232,091		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	(決算額) うち一財	千円	241,321	232,091		消防車両更新整備に伴う増額		
	実績値	100.0	20.0	20.0			正職員人件費	千円	147	148				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.02	0.02	0.02			
							支出コスト	千円	決) 241,468	決見) 232,239				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	消防組合との調整、組合議会 (経常的事務事業)	・市民	・熊毛地区の安心安全を守る。	・熊毛地区の火災、救急等の災害に出動し、被害の軽減を図る。	・平成26年度において、熊毛地区の火災、救急等に出動し、災害に因る被害を軽減した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.02	0	232,091	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・予算編成の段階から意見を言える体制づくりをしてきており、今後とも継続していく必要がある。					B	改善案	・今後とも、光地区消防組合との連絡を密にし、更なる連携強化を図る。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
細事業の課題						改善案							
④													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
細事業の課題						改善案							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	・消防業務に対する住民の要望は高くなってきており、熊毛地区の安心安全を守るために事業を推進する。	前年度までの指摘事項	・所管課の評価どおりとする。	指摘事項に対する改善状況	・熊毛地区の消防体制を確保するため、最小の経費で最大の効果をあげる対応であり、周南市にとっての効果的な方向性について、継続的に調査・研究を進める。
	細事業の課題・問題点	・予算編成の段階から意見を言える体制づくりをしてきており、今後とも継続していく必要がある。	事業全体の課題・問題点	・今後とも、光地区消防組合との連絡を密にし、更なる連携強化を図る。 ・熊毛地区の消防体制を確保するため、最小の経費で最大の効果をあげる対応であり、周南市にとっての効果的な方向性について、継続的に調査・研究を進める。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	・熊毛地区における、災害に因る被害を軽減し、市民の安心安全を守るために、必要不可欠な事業である。現状の消防力を低下させないことを前提とし、最小の経費で最大の効果をあげることを考慮し、調査・研究をしていきたい。	改善案	・常備、非常備ともに光地区消防組合との連携強化を図り、事業の方向性については、最小の経費で最大の効果をあげることを考慮し、調査・研究をしていきたい。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B ・所管課の評価どおりとする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特になし

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	641008	事務事業名	消防機械器具強化充実事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	○
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	市民の生命や財産を災害から守り、だれもが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防署所に配備している消防機械器具の計画的な整備をすることで、消防活動の質の強化に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【消防・救急体制】	60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・老朽化した消防車両等を更新整備することで、時宜に即応した消防力の強化充実を図り、市民の安心安全を守ることができる。(H26年度更新台数:2台)	事業の内容 (手段)	・火災等、諸災害の複雑多様化に対応するため、消防車両、資機材を更新整備することにより消防力の強化充実を図る。 (1) 消防ポンプ自動車 1台(西部出張所) (2) 消防活動多目的車 1台(危険物保安課) (3) はしご付消防自動車オーバーホール(西消防署) (4) 消防ホース 36本		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・消防ポンプ自動車 1台(西部出張所)、消防活動多目的車 1台(危険物保安課)を更新整備した。 ・はしご付消防自動車 1台(西消防署)をオーバーホールした。 ・消防用ホース 36本を更新整備した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	205,506	83,510	54,274	16,503		127,985						
事業目標	目標名	消防車両更新台数	計算式	達成項目/目標項目	単位	台	(予算額)	うち一財	千円	13,737	47,510	3,485	1,503	7,885
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	203,657	82,959		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1.0	2.0	2.0	3.0	2.0	(決算額)	うち一財	千円	13,452	48,059		更新車両変更に伴う減額	更新車両変更に伴う増額
	実績値	1.0	2.0	2.0			正職員人件費	千円	1,245	1,257				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.17	0.17	0.17			
							支出コスト	千円	決) 204,902	決見) 84,216				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	車両、資機材の更新計画の策定、仕様の研究 (施設等整備事業)	市民	消防機械器具の強化充実を計画的に行い、災害による被害の軽減を図り、市民の安心安全を守る。	消防機械器具を計画的に更新整備する。	・消防ポンプ自動車 1台・消防活動多目的車 1台・消防用ホース36本・はしご付消防自動車オーバーホール	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・老朽化した消防機械器具を計画的に更新する必要がある。					B	改善案	・財源等を有効に活用しつつ、優先順位を考慮し消防機械器具の更新を進めていきたい。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	・複雑、多様化する災害に適切に対応し、市民の安心・安全、生命と財産を守るため、消防機械器具の更新は必要不可欠である。			・所管課の評価どおりとする。
	・老朽化した消防機械器具を計画的に更新する必要がある。			・財源等を有効に活用しつつ、優先順位を考慮し消防機械器具の更新を進めていきたい。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	・複雑、多様化する災害に適切に対応し、市民の安心・安全、生命と財産を守るため、消防力の根幹をなす消防機械器具を更新整備する重要な事業である。
			改善案	・財源等を有効に活用しながら、計画通り更新を行い、複雑多様化する災害に適切に対応し得る体制を整え、消防力の強化を図りたい。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課の評価どおりとする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
○指令・指揮車 5,400千円 ○資機材搬送車 7,515千円 ○消防用ホース 3,489千円

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	641023	事務事業名	消防団機械器具強化充実事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	○
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	・市民の生命や財産を災害から守り、だれもが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防団に配備している消防機械器具の計画的な整備をすることで、消防活動の質の強化に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【消防・救急体制】	60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・老朽化した消防団車両等を更新整備することで、消防団の機動力を確保し、地域防災力を強化充実することにより、市民の安心安全を守ることができる。(H26年度更新台数:2台)	事業の内容 (手段)	・火災等、諸災害の複雑多様化に対応するため、消防団車両、資機材を更新整備することにより機動力の強化充実を図る。 (1) 小型動力ポンプ付積載車 2台(清水、上野) (2) 消防用ホース 80本(市内8機庫)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		・小型動力ポンプ付積載車2台(清水、上野)、消防用ホース80本を更新整備した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
【26年度】									直接事業費	千円	22,332	23,505	32,680	31,782	32,629		
									(予算額) うち一財	千円	5,532	5,055	4,680	2,682	6,329		
									直接事業費	千円	21,861	22,676		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
事業目標	目標名	消防車両更新台数	計算式	達成項目/目標項目		単位	台	(決算額) うち一財	千円	4,061	3,726						
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		正職員人件費	千円	1,026	1,035						
	目標値	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0		人工数	人	0.14	0.14	0.14					
	実績値	2.0	2.0	2.0				支出コスト	千円	決) 22,887	決見) 23,711						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否	
	① 団車両、団資機材の計画、更新配備 (施設等整備事業)		・市民		・消防団機械器具の強化充実を計画的に行い、災害による被害の軽減を図り、市民の安心安全を守る。		・消防団機械器具を計画通り更新整備する。		・小型動力ポンプ付積載車2台(清水、上野)、消防用ホース80本を更新整備した。			0.14	0	22,676	否	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・老朽化した消防団機械器具を計画的に更新する必要がある。						B		改善案		・財源等を有効に活用しつつ、優先順位を考慮し消防団機械器具の更新を進めていきたい。				
	②																
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他															

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行を踏まえて、消防団機械器具の強化充実が必要不可欠である。	前年度までの指摘事項	・所管課の評価どおりとする。	指摘事項に対する改善状況	・消防団機械器具の状況や優先順位等を総合的に判断した更新計画を策定し、消防団の消防力強化を図りたい。
	細事業の課題・問題点	・老化した消防団機械器具を計画的に更新する必要がある。		事業全体の課題・問題点		・財源等を有効に活用しつつ、優先順位を考慮し消防団機械器具の更新を進めていきたい。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	・複雑、多様化する災害に適切に対応し、市民の安心・安全、生命と財産を守るため、地域防災の要となる消防団機械器具を更新整備する重要な事業である。	改善案	・財源等を有効に活用しながら、計画通り更新を行い、複雑多様化する災害に適切に対応するため、地域消防力強化を図りたい。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課の評価どおりとする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
○消防ポンプ自動車 19,656千円 ○小型動力ポンプ付積載車 9,720千円 ○消防用ホース 2,259千円

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	641030	事務事業名	消防施設整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	○
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	・市民の生命や財産を災害から守り、だれもが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防署所及び消防団拠点施設の機能強化や適正配置を行います。			25年度市民評価の満足度	【消防・救急体制】
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・消防業務を行う上で必要不可欠な消防施設を整備または耐震化し、災害等発生時における消防体制を確保することで、市民の安心安全を守ることができる。	事業の内容 (手段)	・消防体制の強化充実及び円滑な消防業務遂行のため、消防施設を整備する。 (1)北消防署耐震改修工事 (2)久米機庫実施設計業務委託		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・北消防署耐震改修工事を実施した。 ・久米機庫の実施設計業務委託を実施した。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
								直接事業費	千円	99,318	32,300	134,520	62,037	33,600		
事業目標	目標名	整備工事、改修工事を実施した消防施設数		計算式	達成項目/目標項目		単位	施設	事業費	(予算額) うち一財	千円	8,518	2,300	15,020	1,137	3,600
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		96,127	24,284	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	2.0	2.0	1.0	2.0	1.0	(決算額) うち一財	千円		5,327	4,484	整備施設変更に伴う減額		整備施設変更に伴う減額		
	実績値	2.0	2.0	1.0			正職員人件費	千円		4,761	4,807					
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人		0.65	0.65	0.65				
							支出コスト	千円		決) 100,888	決見) 29,091					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否							
	①	消防施設の整備 (施設等整備事業)	・市民	・消防業務を行う上で必要不可欠な消防施設を整備することで、市民の安心安全を守る。	・消防施設の整備を計画的に行う。	・北消防署耐震改修工事を実施した。 ・久米機庫の実施設計業務委託を実施した。	正職員 0.65 臨時等 0	直接事業費 24,284	委託 否	臨時嘱託 否						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価									
	細事業の課題 ・西消防署は、新南陽総合支所との一体的な整備に向けて、基本計画を策定していく必要がある。 ・老朽化した消防団機庫は、集約化も含めて更新整備の在り方について検討が必要である。						A	改善案	・計画的な改修・整備を継続していく。							
	②															
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価										
細事業の課題							改善案									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災を契機に消防署所及び地域防災の中核となる消防団機庫の重要性はますます高まっている。 	前年度までの指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> 所管課の評価どおりとする。 	指摘事項に対する改善状況	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化している消防団機庫については、適正配置、適正規模を考慮し、集約化も含めて検討を行う。
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 西消防署は、新南陽総合支所との一体的な整備に向けて、基本計画を策定していく必要がある。 老朽化した消防団機庫は、集約化も含めて更新整備の在り方について検討が必要である。 	事業全体の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な改修・整備を継続していく。 		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> 市民の安心・安全、生命と財産を守るために必要不可欠である防災拠点施設を整備する重要な事業である。 	改善案	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、消防施設の機能や配置、規模等考慮し、順次整備を行っていく。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 所管課の評価どおりとする。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
○(仮称)高水機庫建築工事 51,918千円 ○須金機庫外壁・屋根等改修工事5,775千円 ○大道理機庫ホース乾燥塔建設工事 3,226千円	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	015505	事務事業名	常備消防費一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	市民の生命や財産を災害から守り、だれもが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防職員の計画的な採用を行うとともに、健康管理を図り、消防活動の質の強化に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	【消防・救急体制】 60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・消防職員の健康管理・安全衛生により、職員の安全と健康を維持し、職務の円滑な遂行が確保されることで、市民の安心安全を守る。 ・消防長会の事業活動を推進し、消防防災体制の充実・強化を図り市民の安心・安全を確保する。 ・優れた人材の確保及び資質の向上を図る。	事業の内容 (手段)	・消防職員の健康管理・安全衛生のため、定期健康診断、特定業務(深夜業務)従事者の健康診断及び産業医の選任並びに感染症予防対策としてB型肝炎等の予防接種を実施する。 ・全国消防長会、全国消防長会中国支部及び山口県消防長会に参画し事業の研究・検討を行う。 ・消防職員採用試験を実施し優れた人材を確保する。 ・消防業務に必要な物品の調達を予算の範囲内で適正に行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	・定期健康診断、特定業務従事者健康診断、感染症予防接種、産業医による安全衛生管理・健康管理を実施 ・消防長会の各種会議における事業の研究・検討を実施 ・消防職員採用試験を実施(3名採用) ・消防業務に必要な物品の調達を適正に実施							直接事業費	千円	15,924	16,335	14,946	15,002	15,735	
事業目標	目標名	受診者数	計算式	達成項目/目標項目		単位	人	(予算額)	うち一財	千円	15,876	16,334	14,945	15,001	15,734
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	14,885	15,759	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	403.0	403.0	401.0	400.0	400.0	(決算額)	うち一財	千円	14,836	15,759				
	実績値	402.0	404.0	380.0			正職員人件費	千円	3,663	6,951					
	達成度(%)	99.8%	100.0%	95.0%			人工数	人	0.50	0.94	0.94				
							支出コスト	千円	決) 18,548	決見) 22,710					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否		
	①	消防職員管理業務 (経常的事務事業)	・市民	・消防職員の安全と健康を維持し、職務の円滑な遂行を確保する。		・定期健康診断等、消防職員を管理していくために必要な業務を実施する。		・定期健康診断、特定業務従事者健康診断及び感染症予防接種を計画的に実施した。			正職員 0.38	臨時等 0	直接事業費 511	委託 否	臨時嘱託 否
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防職員の安全・健康の維持のために感染症への各種予防接種等を計画的に実施していく必要がある。						B	改善案	・消防吏員の健康状態を正確に把握し、適正な管理を実施する						
	②	産業医嘱託業務 (経常的事務事業)	・市民	・産業医を選任し消防職員の労働衛生管理及び健康管理を行う。		・産業医を選任し、消防職員の安全衛生管理・健康管理を行うための環境を整備する。		・産業医を選任し委嘱辞令を交付・新規救命士の健康診断等実施			0.08	0	540	否	否
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防職員の安全衛生管理・健康管理のため産業医の選任を継続していく必要がある。						B	改善案	・産業医の指導助言の下、消防職員の安全衛生・健康管理を徹底する。							

	細事業名 事業の分類	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
事業を構成 する細事業 【26年度実績】	③ 消防長会事務業務 (経常的事務事業)	・市民	・消防長会の事業活動を推進し、消防防災体制の充実・強化を図り市民の安心・安全を確保する。	・消防機関相互の融和強調を図り、情報の交換を行うとともに、消防制度・消防技術の総合的な研究などを行い、消防の健全な発展に寄与する。	・消防長会主催の各種会議・研修会等に参加し、各事業における情報・体制・技術についてフィードバックを実施した。	0.18	0	574	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・特になし			細事業評価						
					A	改善案	・特になし				
	④ 試験関係業務 (経常的事務事業)	・市民	・優れた人材の確保及び消防職員の資質の向上を図る。	・職員採用試験の計画・実施及び、消防職員昇任試験に係る事務手続を実施	・職員採用試験、消防職員昇任試験を実施した。	0.16	0	239	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・優れた人材の確保及び消防職員の資質の向上が必要である。			細事業評価						
					B	改善案	・消防職員の資質の向上を図り、採用等に関する情報発信を継続する。				
⑤ 消防本部運営管理業務 (経常的事務事業)	・市民	・消防業務運営に必要な経費の管理を適正に行い、円滑な職務を遂行する	・貸与品の更新、仮眠室寝具借上、事務用品・非常食の管理など、消防業務運営に必要な経費の管理を適正に行う。	・予算の範囲内で、適正に実施した。	0.14	0	13,895	否	否		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防業務運営に必要な経費の管理を、適正に予算の範囲内で行う必要がある。			細事業評価							
				B	改善案	・職員に対し、コスト削減意識の徹底を継続するとともに、効率的な業務の遂行を目指す。					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	・団塊の世代の大量退職に伴い、職員の若年化が進んでおり、優れた人材を確保することは喫緊の課題である。また、厳しい財政状況のなかで、多分野でコスト削減を図っていく必要がある。	前年度までの指摘事項	・所管課の評価どおりとする。	指摘事項に対する改善状況	・感染症予防対策については未接種者を優先し計画的に実施。 ・消防業務に必要な経費の適正な管理を徹底する。
	細事業の課題・問題点	・全職員に対する感染症対策は極めて重要であり、各種予防接種が必要である。 ・優れた人材を確保するため、効果的なPR等が必要である。 ・消防業務に必要な物品の調達や事務経費の管理を適正に行う。 ・防火衣の経年劣化が進んでいるため、更新を踏まえた研究が必要である。	事業全体の課題・問題点	・円滑に職務を遂行するためには職員の健康維持管理が必要不可欠である。定期健康診断、特定業務(深夜業務)従事者の健康診断の受診、及び産業医の活用等で自分自身の健康状態の把握または疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができる重要な事業である。また、感染症予防対策として職員の予防接種率の向上を目指し、引続き計画的に事業を実施する必要がある。 ・優れた人材確保のため採用試験において受験者数の増加、また、職員個々の資質向上のため昇任試験受験者数の増加を図る施策を講じる必要がある。 ・予算の範囲内で、消防業務に必要な物品の調達や事務経費の管理を継続する必要がある。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	・職員が健康に職務遂行を行う上で重要な事業である。今後も消防業務に必要な本部運営業務を適正に行うとともに、採用試験、昇任試験を実施することにより、優れた人材の確保、職員の資質の向上に努めていく必要がある。	改善案	・消防職員の健康管理の徹底 ・消防長会事業の推進による消防防災体制の充実・強化。 ・広く効果的なPRによる優れた人材の確保。 ・適正な本部運営業務の管理を継続する。
----	---	--	------	--	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課の評価どおりとする。
----	---	---------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
特になし	

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	631011	事務事業名	消防職員研修養成事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	・市民の生命や財産を災害から守り、だれもが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防職員の技術、知識の習得による資質の向上を図り、消防活動の質の強化に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【消防・救急体制】	60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・消防職員の知識・技術の習得、体力・気力の錬成、併せて規律の保持と共同精神の養成を図り、時代に即応できる人材の養成をすることで、消防活動の質の向上を図ることができる。	事業の内容 (手段)	・県消防学校、消防大学校に入校させ、知識及び技能を習得させる。 ・計画的に各種資格取得講習を受講させ、知識及び技能を習得させる。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・消防学校:初任総合教育7人、火災調査科2人、予防査察科2人、救助科2人、大規模災害対策科2人、無線通信科5人入校し、知識及び技能を習得した。 ・資格取得:小型移動式クレーン3名、玉掛3名、酸欠・硫化水素2名、大型自動車4名受講						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	4,811	5,106	4,119	6,890		4,687						
事業目標	目標名	消防学校入校者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	4,811	5,106	4,119	6,890	4,687
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	4,755	4,765			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	20.0	21.0	18.0	18.0	18.0	(決算額)	うち一財	千円	4,755	4,765			採用職員増加に伴う学校教育負担金の増額
	実績値	20.0	23.0	20.0			正職員人件費	千円	1,026	1,331				
	達成度(%)	100.0%	109.5%	111.1%			人工数	人	0.14	0.18	0.18			
							支出コスト	千円	決) 5,781	決見) 6,096				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	消防職員教育 (経常的事務事業)	・市民	・消防職員の知識及び技能の習得により資質の向上を図る。	・消防学校教育、各種資格取得講習を受講する。	・消防学校、各種資格講習を計画的に受講した	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.18	0	4,765	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・各所属の確保人員を考慮すると、長期研修等への派遣が困難である。					B	改善案	・研修修了職員による効果的なフィードバックを図る。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
		<ul style="list-style-type: none"> 若手職員の増加に伴い、職員構成比率が若年化している。 今後予想される南海トラフ巨大地震や多種多様化する災害の発生に対し、消防に対する市民の期待が大きくなっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 複数の職員が同時に各種教育、研修を受講することは困難なため、研修等の終了後は受講者による効果的なフィードバックを図り職員全体のレベル向上に努める必要がある。 職員の研修機会の平準化に努める必要がある。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由 ・行政サービスの向上のための人材育成、また各種災害等に対応するための知識・技術の習得は市民の安心安全を確保するために必要な事業である。適正な人員配置を行うために、研修・学校教育等の受講について推進していく。	改善案 ・各所属の勤務体制を考慮しながら計画的に職員の派遣を継続するとともに、効果的なフィードバックを図り職員全体の資質の向上に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B ・所管課の評価どおりとする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
特になし	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	015508	事務事業名	非常備消防一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	・市民の生命や財産を災害から守り、だれもが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防団員の人事管理を適正に行い、消防活動の質の強化に取り組みます。 ○青年層や女性の消防団への入団を促進するとともに、事業所との協力体制を推進し団員確保に向けた積極的な取り組みを行います。 ○消防団員の個人装備を計画的に配備し、消防団の充実強化を図ります。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・消防団が円滑に機能することで、市民の生命、身体及び財産を火災から保護し、安心安全を守る。	事業の内容 (手段)	・消防団の人事、庶務に関する事。 ・消防団員の確保、表彰、会議に関する事。 ・消防団員の報酬、費用弁償及びその他給付に関する事。 ・消防団員の消防団活動に必要な物品の調達 ・出初式に関する事。	【消防・救急体制】	60.60%

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・消防団員の事務、庶務に関する事、消防団員の確保、表彰会議に関する事、消防団員共済会の育成に関する事、消防団員の報酬、費用弁償及びその他の給付に関する事、消防団員の貸与品に関する事等。※消防団員実数1,027人(H27年4月1日現在)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	142,027	131,233	133,880	136,320		135,714						
事業目標	目標名	表彰受章数	計算式	達成項目/目標項目	単位	件	(予算額)	うち一財	千円	97,099	95,035	97,690	98,292	96,608
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	112,462	113,877		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	(決算額)	うち一財	千円	93,909	90,217		退職団員増加に伴う退職報償金の増加	
	実績値	31.0	27.0	29.0			正職員人件費	千円	9,669	9,761				
	達成度(%)	124.0%	108.0%	116.0%			人工数	人	1.32	1.32	1.32			
							支出コスト	千円	決) 122,131	決見) 123,638				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	消防団員の人事に関する業務 (経常的事務事業)	・市民	・消防団が円滑に機能することで市民が安心安全に暮らすことができる。	・新入団員を確保するとともに、適正な消防団員の人事管理を遂行する。	・消防団員の各種表彰を行い、士気の高揚に努めた。 ・消防団協力事業所表示制度を活用し、入団促進を図った。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防団員の入団促進を図るとともに、人事管理を適正に行い、消防団の充実強化を図っていく必要がある。					B	改善案	・市ホームページ・広報の掲載によるPR、ケーブルTV・イベント等を活用した消防団員募集活動を実施する。					
	②	消防団員の報酬等給付業務 (経常的事務事業)	市民	・消防団が円滑に機能することで市民が安心安全に暮らすことができる。	・消防団員の年報酬、費用弁償等の給付業務を適正に行う。	・年報酬、費用弁償等の消防団活動経費を管理し給付業務を適正に遂行した。	0.17	0	81,905	否	否			
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 複雑な給付業務を適正に管理する必要がある。					A	改善案	管理システムなどを活用し、効率的な業務遂行を行う。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
③	出初式関連業務 (経常的事務事業)		・市民	・出初式開催	・消防の全陣容を公開して消防に対する認識と信頼を深め、防災思想を喚起するとともに防災体制を確立する。	・1月5日に出初式を行い、消防職団員の意識高揚を図り、市民に対して消防に対する認識と信頼を深めた。	0.29	0	4,314	否	否
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防の最大行事であり、運営や会場の管理など業務を適切に行っていく必要がある。 ・消防団員のサラリーマン化が進み、式への参加への配慮が必要である。						細事業評価 B 改善案 ・事業を適正に管理し、効果的な事業の遂行に努める。				
④	消防団装備の充実強化 (経常的事務事業)		・市民	・消防団の装備を充実強化することにより、消防団活動を円滑に行う。	・地域防災力の中核である消防団の装備を充実強化する。	・計画的に消防団員用法被、保安帽、救命胴衣を配備した。	0.2	0	3,324	否	否
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防団へ配備する装備は経年劣化で破損等しており、継続的な配備計画が必要である。						細事業評価 B 改善案 ・予算の範囲内で効率的な配備計画を作成し、適正に配備を継続する。				
⑤	消防団運營業務 (経常的事務事業)		・市民	・消防団が円滑に機能することで市民が安心安全に暮らすことができる。	・消防団活動に必要な経費を適正に管理し、消防団が円滑に機能できるようにする。	・消防団活動に必要な諸経費を予算の範囲内で適正に管理した。	0.1	0	4,350	否	否
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防団活動に必要な経費を適正に管理する必要がある。						細事業評価 B 改善案 ・予算の範囲内で計画的な事業遂行を継続する。				
⑥	消防操法大会関係業務 (経常的事務事業)		・市民	・消防団員の消防技術の向上と指揮の高揚を図り、もって消防活動の充実発展に寄与することを目的とする。	・全国消防操法大会出場を目指し、ポンプ車、小型ポンプの部に分かれて、速さ、正確性、規律の正しさを競う。	・市内18分団の代表22チームの出場により大会を開催。 ・山口県消防操法大会にポンプ車の部、小型ポンプの部に1チームずつ出場した。	0.25	0	11,973	否	否
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 周南市消防操法大会関係 ・各地区での事前訓練において、会場、参加人員の確保、指導者の育成等の調整が難しい。 ・団員の高齢化により、出場チームの構成に偏りが見られる。 ・審査員の資質の向上と負担の軽減とのバランスが難しい。 ・県消防操法大会に準じて行う放水が出来る会場の確保が課題である。 県操法大会関係 ・全国大会出場を目指し、同種目に複数チームの出場要望がある。 ・女性消防団員の活躍する場が必要である。						細事業評価 B 改善案 ・操法大会は、団員の消防活動の基礎を習得する場であり、火災等の災害現場での安全管理上でも必要不可欠な活動である。県大会に勝ち抜き、全国大会出場するため、効果的な資機材の整備、同種目複数チームの出場等について検討する。 ・女性消防団員の操法訓練について検討する。				
⑦	消防団訓練関係業務 (経常的事務事業)		・市民	・消防団を中核として地域防災力を強化していくため人材育成を図り、市民の安心安全を確保する。	・公的機関(公助)と自主防災組織[共助]や住民(自助)との更なる連携を行うための実践的な訓練を実施する。	・周南市総合防災訓練 ・自主防災組織との連携訓練 ・消防団拠点資機材等取扱訓練 ・県防災ヘリによる地上支援訓練 ・水防工法訓練 ・林野火災訓練 ・建物火災訓練 等	0.14	0	7,450	否	否
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防団活動の充実、装備の改善とともに教育訓練の充実も必要であるが、消防団員はそれぞれ仕事を持っており、訓練のための時間の確保が課題である。 ・訓練場所が限られており、様々な想定を考慮することが難しい。 ・団員内での指導者の確保が急務である。 ・地区住民、自主防災組織等との連携訓練の必要性。						細事業評価 B 改善案 ・消防団協力事業所表示制度を活用し、消防団員が活動しやすい環境整備の構築に努める。 ・消防団員の更なる人材の育成のため教育訓練について見直しを行う。				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	⑧	住宅防火診断 (経常的事務事業)					・市民	・住宅防火対策を推進することで市民の安心安全を確保する。	・住宅防火診断に併せ、住宅用火災警報器の設置普及を推進することにより、火災発生件数の減少を図る。	・住宅防火診断を中須・須金地区で実施し、住宅用火災警報器の設置推進を図った。	正職員	臨時等
			0.07	0	402	否					否	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	・住宅用火災警報器の設置促進に併せて、設置済みの住宅には適正な維持管理について啓発していくことが必要である。					B	改善案	・住宅用火災警報器については、設置による奏功事例を広報することで設置促進を図り、設置済みの住宅には適正な維持管理を啓発する。				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の減少は消防力の低下につながるため、「団員の入団促進」を今後も重点課題として取り組む。 ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行、「消防団の装備の基準」の改正に伴い、消防団員の装備の充実強化が求められている。 	・消防団の充実強化等の環境整備に取り組み、団員の加入促進に努める。
	・全国的に消防団員のサラリーマン化が進んでいるが、周南市においてもサラリーマン化率は高く、消防団協力事業所表示制度を活用した協力体制を確保する必要がある。消防団の装備の充実強化が求められており、配備計画を作成し適正な業務遂行が必要である。	事業全体の課題・問題点	・「南海トラフ巨大地震」等の大規模災害の発生が危惧されており、地域防災力の中核である消防団にかかる市民の期待は増大している。それに伴い消防団の装備や教育・訓練の充実強化は欠かせないものである。また過疎化、少子高齢化が進むなか、消防団員数の減少が問題となっているため、新入団員確保への取り組みは重要な課題である。

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案
			・地域防災の中核をなす消防団組織を維持運営する上で必要不可欠な事務事業である。引続き事務の効率化に努め、新入団員確保や装備の充実強化のための取り組みを積極的に行う必要がある。	・サラリーマン団員が円滑に活動できるよう、消防団協力事業所の拡充に取り組むとともに、装備品の配備を計画的に進めていき、更なる地域防災力向上に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	コメント
		・所管課の評価どおりとする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

改善結果(平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など))
○消防団員の安全装備品の計画的な(2年目/5年)配備 +1,400千円

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	641014	事務事業名	消防団員研修養成事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	市民の生命や財産を災害から守り、だれもが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防団員の技術、知識の習得による資質の向上を図り、消防活動の質の強化に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【消防・救急体制】	60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・地域防災を担う消防団員の知識、技術の習得を図ること、消防活動の質の向上を図ることができる。	事業の内容 (手段)	・消防学校等における各種消防団員教育、消防本部での新入団員研修等により、知識、技能の向上を図る。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・幹部団員研修41人、消防学校等で実施する教育に団員13人(基礎教育2名、幹部教育中級幹部科4人、幹部教育初級幹部科3人、専科教育警防科3人、幹部候補中央特別研修1人)を派遣。※部内研修については、幹部教育と新入団教育を隔年で実施している。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	254	258	336	431		283						
事業目標	目標名	教育研修終了者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	人	(予算額) うち一財	千円	254	258	336	431	283	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	125	92		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	52.0	92.0	52.0	72.0	72.0	(決算額) うち一財	千円	125	92				
	実績値	62.0	84.0	54.0			正職員人件費	千円	1,465	1,479				
	達成度(%)	119.0%	91.0%	104.0%			人工数	人	0.20	0.20	0.20			
							支出コスト	千円	決) 1,590	決見) 1,571				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	消防団員の教育 (経常的事務事業)	・市民	・各種消防団教育に参加することで、知識・技能の向上を図る。	・消防総務課で行う研修、県消防学校・日本消防協会で行われる各種教育に参加する。	・消防学校教育、部内研修を計画的に実施した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.2	0	92	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防団員のサラリーマン化が進んでいるため、教育機関への派遣が困難となっている。					B	改善案	・計画的な団員の受講を推進するとともに、研修修了団員によるフィードバックを図る。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	・消防団員のサラリーマン化が進むなか、大規模・多様化する災害の発生が危惧され、地域防災の中核をなす消防団への期待が増大している。	前年度までの指摘事項	・所管課の評価どおりとする。	指摘事項に対する改善状況	・職員による新入団員の研修等を実施
	細事業の課題・問題点	・消防団員のサラリーマン化が進んでいるため、教育機関への派遣が困難となっている。	事業全体の課題・問題点	・団員が受講しやすい環境を整備するとともに、職員による研修教育を計画していく必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	・各種消防団員教育、職員による研修などの実施により、団員の知識・技能の向上が図られている。団員全体の資質の向上は重要な課題であり効果的な取り組みを図っていく必要がある。	改善案	・計画的な研修の受講、受講者によるフィードバック、職員による研修を継続して実施する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	・所管課の評価どおりとする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
消防団組織の充実強化(消防大学校:消防団長科) +404千円

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	641020	事務事業名	消防団員等公務災害補償等共済基金事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	・市民の生命や財産を災害から守り、だれもが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防団員が活動しやすい環境を整備します。			25年度市民評価の満足度	
					【消防・救急体制】	60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・消防組織法に基づき、消防団員の公務災害による補償並びに地域の防災に貢献した消防団員が退職した際の退職報償金の請求事務を行う。	事業の内容 (手段)	・消防団員公務災害補償等共済基金に加入し、公務災害が発生した場合の損害補償に係る手続、消防団員が退職した際の退職報償金に係る手続を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・退職報償金52件の事務を適正に実施した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	25,506	25,506	25,506	25,506	25,506	
事業目標	目標名	公務災害及び退職報償金支払数	計算式	達成項目/目標項目		単位	件	(予算額)	うち一財	千円	25,506	25,506	25,506	25,506	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	25,506	25,506		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0		(決算額)	うち一財	千円	25,506	25,506			
	実績値	37.0	49.0	52.0				正職員人件費	千円	1,465	1,109				
	達成度(%)	123.0%	163.0%	173.0%				人工数	人	0.20	0.15	0.15			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト	委託等の可否		
	①	公務災害補償・退職報償金支給関係 (経常的事務事業)	・市民	・消防団員が活動しやすい環境を整備することで、市民の安心安全を守る。		・公務災害補償や退職報償に係る手続を円滑に行う。		・退職報償金の手続事務を適正に実施した。		正職員	0.15	0	25,506	否	否
	②	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防団員の公務災害を防止する、危険予知訓練への取組みも必要である。						細事業評価		A	改善案	・消防団訓練に併せて、危険予知訓練についても実施する。			
	③	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価			改善案				

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	・近年、社会情勢の変化により災害が複雑多様化、大規模化するなか、全国的には公務災害の発生件数も増加している。	前年度までの指摘事項	・所管課の評価どおりとする。	指摘事項に対する改善状況	・効率化に努め計画的に実施していく。
	細事業の課題・問題点	・消防団員の公務災害を防止する、危険予知訓練への取組みも必要である。	事業全体の課題・問題点	・消防団員の公務災害を防止する、危険予知訓練への取組みも必要である。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	・消防団員の公務災害補償と退職時の報償金給付は、活力ある消防団活動を担保するため、消防組織法に基づく重要な事務事業である。 ・地域の防災活動の担い手である消防団員が安心して活動できるよう事業を継続していかなければならない。	改善案	・計画どおりに事業を進めていく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A ・所管課の評価どおりとする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特になし

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	631014	事務事業名	消防庁舎管理事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	・市民の生命や財産を災害から守り、誰もが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防署所の適切な管理により、機能を維持します。			25年度市民評価の満足度	
					【消防・救急体制】	60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・消防業務の活動拠点となる消防署所を適切に維持管理することで、市民の安心安全を守ることができる。	事業の内容 (手段)	・消防業務の活動拠点となる各消防署所の維持管理		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	事業の実績						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	・庁舎を適正に維持管理するため、電気工作物保守管理、冷暖房施設保守管理、貯水槽清掃、水質検査、消防用設備等保守点検を外部業者に委託するほか、各署所の施設に係る管理及び保全								直接事業費	千円	28,526	29,445	31,881	28,388	29,951
事業目標	目標名	緊急出場が適正に行える消防庁舎数	計算式	達成項目/目標項目		単位	箇所	(予算額) うち一財	千円	26,575	27,226	29,610	26,365	27,803	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	28,799	29,772		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0		(決算額) うち一財	千円	27,038	28,129		修繕施設変更に伴う減額	修繕施設変更に伴う増額	
	実績値	6.0	6.0	6.0				正職員人件費	千円	2,344	2,736				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				人工数	人	0.32	0.37	0.37			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否		
	①	庁舎関係維持管理業務 (施設等管理運営事業)	・市民	・消防業務遂行に必要な拠点施設の維持管理を適正に行い、市民の安心安全を確保する。		・消防庁舎を維持管理する		・予算の範囲内で適正な管理を実施した。			正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
								0.23	0	27,920	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・中央署においては敷地の関係上、訓練スペースの確保・来客用の駐車場不足である。また、北部・西部出張所を除く各署の庁舎は老朽化し保全箇所も増加している。冷暖房の適正な管理及び節電・節水等を行うとともに、コストダウン意識を職員に周知徹底させ、更なる見直しを継続する必要がある。						B	改善案	・現状の敷地不足についての対応は困難である。また、庁舎管理については予算の範囲内で適正な管理を維持したい。今後も職員による光熱水費の削減、省エネ製品の導入を計画し、ランニングコストの削減を図る。					
②	庁舎設備保守管理業務 (施設等管理運営事業)	・市民	・消防業務遂行に必要な拠点施設の保守管理を法令に基づき適正に行い、市民の安心安全を確保する。		・保守委託などを行い、庁舎設備を適正に管理する。		・法令に基づき適正な保守管理を実施した。			0.14		1,852	可	否	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・電気工作物や施設設備の保守管理委託内容を見直し、更なるコスト削減を図る。						B	改善案	・老朽化した施設設備を計画的に更新するとともに、法令に基づき適正な管理を維持していく。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	所管課の評価どおりとする。	指摘事項に対する改善状況	職員に対し、更なるコストダウン意識を周知徹底させるとともに、庁舎設備の省エネ製品への更新、ピークカットやクールビズ・ウォームビズを導入することでランニングコストの削減を図りたい。
	・更新が必要なエネルギー消費設備の省エネ化を図っている。また、庁舎によっては老朽化が進んでいるため、保全箇所が増加している。				
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点		・冷暖房の適正な管理及び節電・節水等を行うとともに、職員に対しコストダウン意識を周知徹底させる必要がある。また、庁舎によっては老朽化が進んでいるため、保全箇所が増加している。また庁舎設備についても保守管理委託を継続し、適正に維持管理する必要がある。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	・重要な防災拠点である消防庁舎を管理する事業である。経年による建物の老朽化や24時間体制に伴う光熱水費等の課題があるが、適正な維持管理を図り、事業を遂行したい。	改善案	・更なるコストダウン意識を全職員に徹底させるとともに、省エネ製品の導入を計画し、予算の範囲内で庁舎の適正な維持管理を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	・所管課の評価どおりとする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
特になし	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	631017	事務事業名	消防機械器具管理事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	・市民の生命や財産を災害から守り、誰もが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防署所に配備している消防機械器具の計画的な点検整備をすることで、消防活動の質の強化に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【消防・救急体制】	60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・災害活動時において、消防機械器具が適切に活用でき、十分な性能を発揮するための維持管理を行うことで、市民の安心安全を守る。	事業の内容 (手段)	・消防機械器具(車両・資機材)の管理・運用事務、修理整備		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・消防車両の点検、整備及び保全を適正に管理するとともに、消防機械器具の維持管理及び更新						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
									直接事業費	千円	18,634	18,751	21,646	19,066	22,000
							(予算額) うち一財	千円	18,630	18,747	21,642	19,062	21,996		
事業目標	目標名	消防車両数	計算式	達成項目/目標項目		単位	台	直接事業費	千円	18,256	18,196		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	18,065	18,068		・車検台数の減少に伴う減額	・車検台数の増加に伴う増額	
	目標値	71.0	71.0	71.0	70.0	70.0		正職員人件費	千円	3,663	3,624				
	実績値	71.0	71.0	71.0				人工数	人	0.50	0.49	0.49			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				支出コスト	千円	決) 21,919	決見) 21,820				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否		
	①	消防機械器具(車両・資機材)の点検整備、保全 (施設等管理運営事業)	・市民	・消防機械器具を円滑に運用することで、市民の安心安全を確保する。		・消防機械器具の点検整備及び保全を適正に行う。		・消防機械器具の点検整備及び保全を適正に行い、消防機械器具の円滑な運用ができた。			正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
								0.35	0	16,011	否	否			
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・保有する機械器具の経年劣化に伴い、整備・保全数が増加している。					A	改善案	・予算の範囲内で適正な維持管理に努める。						
②	消防機械器具の更新 (施設等管理運営事業)	・市民	・消防機械器具を計画的に更新し活用することで、市民の安心安全を確保する。		・経年劣化や耐用年数を経過した機械器具を計画的に更新する。		・経年劣化や耐用年数を経過した機械器具を予算の範囲内で適正に更新した。			0.14	0	2,185	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・経年劣化した機械器具が増加している。					B	改善案	・長期的な更新計画を作成し、予算の範囲内で効果的な更新を進めていく。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	・消防機械器具の老朽化が進んでいる。	前年度までの指摘事項	・所管課の評価どおりとする。	指摘事項に対する改善状況	・「周南市消防安全管理規定」、「消防機械器具等安全管理基準」に従って、適正な運用管理を行うよう周知徹底を図る。
	細事業の課題・問題点	・消防機械器具の点検整備・保全是、多様化する災害に対応するため不可欠な事業であるが、経年劣化及び老朽化による修繕が増加している。	事業全体の課題・問題点	・消防機械器具(車両・資機材)を効率的に維持管理するとともに、計画的に点検整備をしていく必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	・消防活動を実施する上で必要不可欠な機械器具を管理する事業であり、法令に基づく車両の点検整備及び更新を計画通りに実施する必要がある。	改善案	・消防機械器具の取扱いを熟知させ、未然に破損等を防止する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	・所管課の評価どおりとする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特になし

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	641017	事務事業名	消防団機械器具管理事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	・市民の生命や財産を災害から守り、誰もが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防団機械器具の計画的な点検整備を進めていくことで、消防団活動の質の強化に取り組みます。			25年度市民評価の満足度	
					【消防・救急体制】	60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・災害活動時において、消防団機械器具が適切に活用でき、十分な性能を発揮するための維持管理を行うことで、市民の安心安全を守る。	事業の内容 (手段)	・消防団機械器具(車両・資機材)の管理・運用事務、修理整備		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・消防団車両の点検整備及び保全を適正に管理するとともに、消防団機械器具の維持管理及び更新						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
									直接事業費	千円	10,526	9,769	11,110	9,708	12,000
事業目標	目標名	消防団車両数	計算式	達成項目/目標項目		単位	台	(予算額)	うち一財	千円	10,526	9,769	11,110	9,708	12,000
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	9,437	8,634				
	目標値	76.0	76.0	76.0	76.0	76.0		(決算額)	うち一財	千円	9,437	8,634			
	実績値	76.0	76.0	76.0				正職員人件費	千円	2,637	3,845				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				人工数	人	0.36	0.52	0.52			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数	コスト	委託等の可否		
	①	消防団機械器具(車両・資機材)の点検整備、保全 (施設等管理運営事業)	・市民	・消防団機械器具を円滑に運用することで、市民の安心安全を確保する。		・消防団機械器具の点検整備及び保全を適正に行う。		・消防団機械器具の点検整備及び保全を適正に行い、消防団機械器具の円滑な運用ができた。			正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託
											0.38	0	8,555	否	否
	細事業の課題		■ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		・保有する機械器具の経年劣化に伴い、整備・保全数が増加している。		A		改善案		・予算の範囲内で適正な維持管理に努める。				
	②	消防団機械器具の更新 (施設等管理運営事業)	市民	・消防団機械器具を計画的に更新し活用することで、市民の安心安全を確保する。		・経年劣化や耐用年数を経過した機械器具を計画的に更新する。		・経年劣化や耐用年数を経過した機械器具を予算の範囲内で適正に更新した。			0.14		79	否	否
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 ■ 効率性 □ コスト □ その他		・経年劣化した機械器具が増加している。		A		改善案		・長期的な更新計画を作成し、予算の範囲内で効果的な更新を進めていく。					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	事業全体の課題・問題点	指摘事項に対する改善状況
	・消防団機械器具の老朽化が進んでいる。		・所管課の評価どおりとする。	・消防団員と合同で消防団機械器具の状況を正確に把握し、経年劣化や損傷等に対して適切に対応している。
	・保有する消防団機械器具を安全かつ適切に活用し、効率的な消防団活動ができる環境を構築することにより、地域防災力の充実強化を図る必要がある。		・経年劣化により、消防団機械器具の機能低下、故障等が発生している。現場で活動する消防団員が安全・確実・迅速な災害対応を実施し、消防団活動に支障をきたすことのないよう、計画的に運用管理をしていく必要がある。	

所管課評価				
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	・消防団機械器具の維持管理は万全を期す必要があり、経年劣化等に伴う資機材の故障・破損等に対応し、機能低下を防ぐため計画通り事業遂行を継続する。
			改善案	・消防団機械器具の点検整備を計画的に継続し、資機材の機能低下を防ぐ。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A
	・所管課の評価どおりとする。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
特になし

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	消防本部 消防総務課	評価者 (課長)	小林 由典	評価責任者 (部長)	河本 晃
事務事業コード	641029	事務事業名	消防施設管理事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	・市民の生命や財産を災害から守り、誰もが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	消防力の強化			【消防・救急体制の整備】	50.90%
	推進施策の展開	○消防団等拠点施設の適切な管理により、機能を維持します。			25年度市民評価の満足度	
					【消防・救急体制】	60.60%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): ・市民	意図(どういう状態にしたい): ・地域防災の活動拠点となる消防団機庫を適正に維持管理することで、市民の安心安全を守ることができる。	事業の内容 (手段)	・地域防災の活動拠点となる消防団機庫の維持管理		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	・地域防災の中核をなす消防団の活動拠点施設である消防団機庫の適正な管理及び保全						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	1,718	1,143	926	1,106		1,263						
事業目標	目標名	消防機庫の適正な維持管理	計算式	達成項目/目標項目	単位	箇所	(予算額) うち一財	千円	811	1,143	926	1,106	1,263	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,345	1,120		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	76.0	76.0	75.0	74.0	74.0	(決算額) うち一財	千円	438	1,120				
	実績値	76.0	76.0	75.0			正職員人件費	千円	1,758	1,849				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.24	0.25	0.25			
							支出コスト	千円	決) 3,103	決見) 2,969				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	消防施設の管理及び保全 (施設等管理運営事業)	・市民	・消防団機庫を維持管理することで、地域住民の安心安全を確保する。	・消防団機庫を適正に管理及び保全する	・予算の範囲内で適正な管理及び保全を実施した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.25	0	1,120	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ・消防団機庫の経年劣化・老朽化に伴い、維持管理費が増加している。					A	改善案	・予算の範囲内で適正な維持管理に努める。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	・消防団機庫等の経年劣化・老朽化が進み修繕数が増加している。	前年度までの指摘事項	・所管課の評価どおりとする。	指摘事項に対する改善状況	・老朽化した消防団機庫を計画的に統合整備等を行うとともに、引き続き機庫の適正な管理及び保全に努める。
	細事業の課題・問題点	・消防団機庫等の経年劣化・老朽化に伴い、維持管理費が増加している。	事業全体の課題・問題点	・消防団機庫等の経年劣化・老朽化に伴い、維持管理費が増加している。		

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	・地域防災の拠点施設となる消防団機庫の維持管理は、市民の安心安全を守るため極めて重要な事業である。災害発生時に消防団の消防力を十分に発揮するため、建物の改修等、適正な維持管理を継続する必要がある。	改善案	・消防施設の現状把握に努め、統合整備を含め適正な維持管理を継続する。
----	---	--	------	--	-----	------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	・所管課の評価どおりとする。
----	---	----------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	400201
分野	4安心安全
基本施策	2消防・救急体制の充実強化
推進施策	(1)消防力の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
特になし	

備考

備考	
----	--